

エアコンプレッサー 共通取扱説明書

型番 AIRSELF30B / 30W

型番 AIRSELF50B / 50W / 50A / 50C

型番 AIRSELF80B / 80W



もくじ

●はじめに	2	●ご使用前に	10
・オイルレスエアコンプレッサについて	2	・点検	10
・最新版の商品説明書	2	・準備	11
・仕様	3	・試運転	13
●安全上のご注意	4	●ご使用方法	14
・ご使用前 警告	4	・運転手順	14
・ご使用中 警告	5	・使用するにあたって	15
・ご使用中 注意	5	●作業を終了させる	16
・ご使用后 警告	6	・終了手順	16
・ご使用后 注意	6	●故障かな?と思ったら	18
●安全装置について	7	●メンテナンス	19
・安全弁	7	・エアフィルタ(吸気口用)の点検	19
・アース	7	・保管について	19
・温度管理装置	8	・お問い合わせ	20
●パーツの名称	9		
・30L	9		
・50L	9		
・80L	9		

発売元 株式会社メカニスタ

◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますので、ご了承ください

はじめに
P2
P3

安全上の
ご注意
P4
P6

安全装置
について
P7
P8

パーツの
名称
P9

使い方

P10
P18

メンテナンス

P19
P20

はじめに

このたびは、エアセルフのエアコンプレッサーをお選びいただき誠にありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みいただき、安全かつ正しくお使いください。本説明書は安全に使用いただくために重要な内容を記載しております。本製品を使用するすべての方が理解し、適切に操作してください。

保存場所について

説明書は紛失しないよう安全な場所に保管してください。将来的なトラブルやメンテナンス時に必要になります。

オイルレスエアコンプレッサーについて

■エアコンプレッサーは、さまざまなエアツールを駆動するための圧縮空気を供給する装置です。市販のエアツールを接続することで、幅広い用途にご利用いただけます。

例：塗装作業、空気の注入、汚れの除去、噴霧作業、自動車整備、農作物の洗浄や剪定、各種機械の動力源

■本製品は、オイルレス仕様のため給油が不要です。オイル漏れの心配がなく、メンテナンスが簡単なうえ、圧縮空気にオイルが混入しないため、クリーンな空気をエアツールへ供給できます。

ご使用時の注意点

■作業前に、使用する工具の必要圧力や空気量を必ずご確認のうえ、用途に応じて正しくお使いください。

■圧縮空気は、気温や使用状況によって水分やホコリを含む場合があります。そのため、電子部品の清掃や乾燥には使用しないでください。

■製品本来の用途以外でのご使用は、重大な故障や事故を引き起こす原因となるため、絶対におやめください。

■製品改良のため、仕様や外観が予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

最新版の商品説明書

最新版の書品説明書は、エアセルフ公式サイトより閲覧・ダウンロードが可能です。

スマートフォン等でQRコードを読み取っていただくことで、最新版の商品説明書ページへ移動することが可能です。

最新版の商品説明書 QRコード



上記QRコードをスマートフォン等でスキャンすることで、最新版の説明書をご確認いただけます。

仕様

型 式	30B,30W,30A,30C	50B,50W	80B,80W
定格電圧	100V	100V	200V
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
回転速度	1400rpm	1400rpm	1400rpm
定格消費電力	800W	1200W	2400W
再起動圧力	0.6MPa	0.6MPa	0.6MPa
最大圧力	0.8MPa	0.8MPa	0.8MPa
タンクサイズ	30L	50L	80L
作動音	59dB	59dB	59dB
重 さ	22kg	37kg	63kg



AIRSELF30B



AIRSELF50B



AIRSELF80B

*商品の外観は製造時期により多少異なる場合がございます。

安全上のご注意

安全に関する表示について

安全に使用するため、以下の警告・注意事項を必ず守ってください。
本取扱説明書の注意事項は、「警告」「注意」に区分されています。

⚠ 警告

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

⚠ 注意

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。
なお△注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますのでかならず遵守してください。

ご使用前

⚠ 警告

以下の事項を守らないと、死亡、重傷、火災、または重大な事故を引き起こす恐れがあります。

1. 使用前の確認

ご使用前に、必ず本取扱説明書を熟読し、製品の使用方法を正しく理解してください。使用方法が不明な場合は、使用せずに販売店またはカスタマーサービスにお問い合わせください。

2. 分解・改造の禁止

修理技術者以外の方が製品を分解、修理、改造することは禁止されています。これにより漏電、感電、発火、火災などの重大な事故が発生する可能性があります。

3. 正しい電源を使用する

本製品はAC100V専用です。他の電圧や直流電源、発電機で使用すると故障や火災の原因になります。

必ず15A以上のコンセントと20A以上のブレーカーを使用してください。

4. アース接続を行う

感電防止のため、必ずアース接続を行ってください。水道管やガス管への接続は避けてください。破損や引火の危険があります。

5. 可燃性物質の近くで使用しない

ガソリンやシンナーなどの揮発性液体やガスの近くでは使用しないでください。火災や爆発の原因となります。

6. 子どもや妊婦を近づけない

本製品を子どもや妊婦が使用することは避けてください。また、使用中は作業場に近づけないよう十分ご注意ください。

7. 濡れた手で操作しない

感電の危険があるため、濡れた手で本製品を操作しないでください。

8. 使用環境の注意

雨や湿気が多い場所、換気の悪い場所では使用しないでください。

ご使用中**⚠ 警告****1. 感電に注意してください。**

- ・エアコンプレッサーを使用中に、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例：パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

2. 空気の圧縮のみに使用してください。

- ・空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を吸入すると爆発する恐れがあります。

3. 人体等の吸入用には使用しないでください。

- ・エアコンプレッサーから吐出される空気は、人体等には絶対に直接使用しないでください。

4. 揮発性可燃物のそばでは使用しないでください。

- ・引火または爆発の恐れがあるため危険です。

5. 箱の中や、狭い場所（密閉された車内など）では使用しないでください。

- ・異常発熱をまねき、故障・事故の原因となることがあります。

6. エアホースを接続する前に、エアホースとエアプラグが完全に固定されていることを確認してください。

- ・固定が不完全だと、外れて事故の原因になります。

7. 開口部や、ファン部に異物を入れたり、近づけたりしないでください。

- ・巻き込みなどにより、故障や事故の原因になります。

8. エアツールは、必ず使用空気圧力の範囲内で使用してください。

- ・製品の寿命を縮めたり、故障や事故の原因になります。

9. 運転時、運転直後の金属部は絶対に素手で触らないでください。

- ・空気の圧縮熱で高温になっています。やけどの恐れがありますので、移動などは熱が下がってから行ってください。

ご使用中**⚠ 注意**

1. 本機の運転中に異常音が発生したり、安全弁の作動によるタンク内圧力の低下がみられた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまでご連絡ください。

安全上のご注意

ご使用後

⚠ 警告

1. 電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜いてください。
2. タンク内の水抜きを行う前に、必ずタンク内の圧縮空気を全て使い切ってください。
 - ・エアが入っている状態でドレンを抜くと、タンク内から圧縮空気が勢いよく吹き出し、事故やけがの恐れがあります。
3. 圧縮空気と水を抜く場合は、顔をエアコック及びドレンコック付近に近づけないでください。
 - ・圧縮空気やドレンの排出によって失明や耳を傷める恐れがあります。
4. エアタンク内の圧縮空気が全て抜けてから、エアホースを外してください。
 - ・タンク内に圧縮空気が残ったままエアホースを外すと、カプラプラグが跳ね、けがや事故の原因になります。
5. 空気が入っている状態のまま、長時間直射日光に当てたり、高温になる場所に放置しないでください。
 - ・タンク内の圧縮空気が更に高圧になり、タンクが破裂する恐れがあります。
6. 本機を分解、改造しないでください。
 - ・事故やけが、故障の原因になります。
7. 損傷した部品がないか点検してください。

ご使用後

⚠ 注意

1. 本機は、大切に手入れをしてください。
 - ・運搬時の落下防止のため、ハンドルグリップは常に乾かして、きれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
2. 環境保全のため、水抜きを行ってください。
 - ・使用後は水抜きを行ってください。水抜きを行う際は、タンク内の水をトレイなどに受けて排出するよう管理してください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子どもの手の届かない所に保管してください。
 - ・落下の恐れがある所は避けてください。
 - ・長期間ご使用にならない場合は、保管前にドレインコックを全開にし、5分以上の運転を行ってください。

作業終了後は、毎回必ずタンク内の圧縮空気と水を全て抜いてください。
水抜きを行わないと、タンク内にサビが発生し、タンクの寿命を縮める原因となります。

安全装置について

安全弁

タンク内が異常高圧になった場合に作動し、タンク内圧を下げます。

本機は圧カスイッチにより、タンク内圧力が最高圧力まで達すると、自動的にモータの運転を停止します。

圧カスイッチの故障などにより、タンク内が異常高圧になった場合、安全弁が作動し、タンク内圧力を減圧します。

この場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。

⚠警告

安全弁はオイルレスエアーコンプレッサーを安全にご使用いただくために取り付けてありますので、絶対に外さないでください。



◎定期的に作動確認を行ってください。

運転状態で安全弁のリングを引いて、圧縮空気が排出されることを確認してください。弁の動きがスムーズでない場合や、圧縮空気が排出されない場合は修理が必要です。お買い求めの販売店、または発売元にご連絡ください。

⚠警告 安全弁を引くと、高圧の圧縮空気が排出されます。

- ・安全弁の確認の際は、安全弁の付近に顔を近づけないでください。
- ・圧縮空気の排出によって、失明や耳を傷める恐れがあります。
- ・安全弁は過度に引かず、圧縮空気が排出されることを確認したらすぐに放してください。

安全装置
について

アース

本機の故障や漏電の際に電流を外へ逃がし、感電事故を防止します。

アースは、本機に異常な電流が流れ込んだり、本機から電流が漏れる等の故障が起きた際に、電流を外へ流します。作業の前に、感電事故防止のため、必ずアース線を接地してください。

⚠注意

アース端子がない場合、アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続する電気工事が必要です。この工事は、**電気工事士の資格が必要**ですので、お近くの電気工事店へ依頼してください。



安全装置について

※本機には、安全を確保するため、温度管理装置がついています。

温度管理装置

本体の温度が過剰に上昇した場合に作動し、運転を停止させます。

本機には温度管理装置がモーターに内蔵されており、温度が過剰に上昇した際に、運転を停止させます。運転が停止した場合は、電源スイッチをOFFにし、エアークOMPRESSOR本体を直射日光に当たらない暗所で休めてください。

(1)原因の確認

温度管理装置が作動した原因を確認してください。

- 延長コードを使用している・または他の機器と電源を共有していませんか？
- エアタンク内に水が溜まっていませんか？
- 作業場の温度が高すぎる・または壁面に近すぎる場所に設置していませんか？

上記の状態である場合は、その原因を取り除いてください。

(2)エアークOMPRESSORの始動

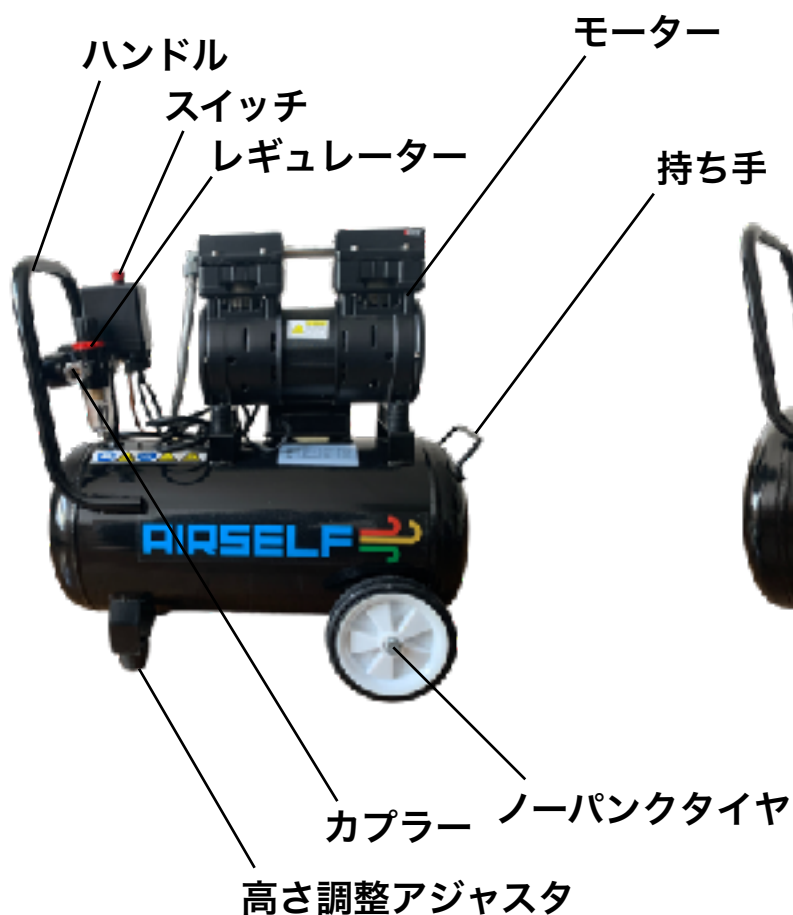
本機の温度が十分に下がった事を確認し、電源をONにしてください。

タンク内圧力が約0.6MPa以上の場合は、電源スイッチをOFFにしても始動しません。

約0.6MPa未満になるまで圧縮空気を抜いてください。エアークOMPRESSORが始動します。

パーツの名称

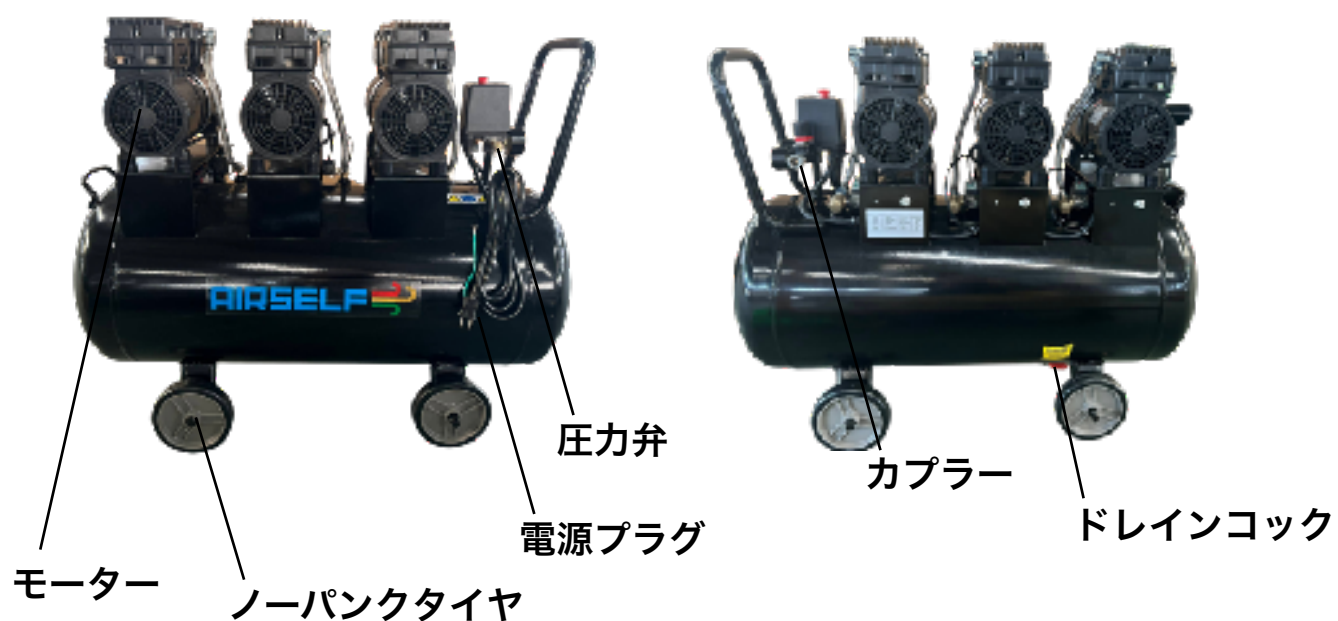
■ 30L



■ 50L



■ 80L



ご使用前に

点検

■ 標準付属品の点検

開梱後、次の標準付属品が揃っているか確認してください。
80L商品の場合、高さ調整アジャスタは付属されません。

付属品



タイヤ, 固定用ボルト



高さ調整アジャスタ



エアクリーナー

■ 電源スイッチの確認

電源スイッチがOFFの状態になっているかを確認してください。ONの状態になっている場合は、必ず差し込みプラグを電源に差し込む前にOFFの状態にしてください。

■ 電源スイッチがONの状態



■ 電源スイッチがOFFの状態



■ 本体の点検

①タンクに亀裂・サビがないか確認

エアーコンプレッサーのタンク部分の亀裂やサビは、事故・故障の原因となります。作業前に必ず、タンクにひびや亀裂、サビや塗装の剥がれなどがいないか確認してください。

②各部のボルト・ナットの締め付け点検

事故や故障の原因となりますので、各部のボルト・ナットやねじにゆるみがないか確認してください。

準備

■ エアタンク内のエアーを抜く

検査用の圧縮空気が残っている場合がありますので、エアコックをゆっくり開いて圧縮空気を抜きます。

■ エアタンク内の水を抜く

エアタンクの下部に付いているドレインコックを回して水を抜いてください。

⚠警告

- ・タンク内の水を抜く際は、顔をドレンコック付近に近づけないでください。けがの恐れがあります。
- ・ドレンを抜く前に、必ずタンク内のエアーを使い切ってください。

⚠注意

- ・使用するとエアタンク内には水が溜まります。使用後は必ず水抜きしてください。
- ・タンク内に溜まった水にはタンク内のサビなども混ざっていますのでドレインコックの下にトレイなどを置き、水抜きを行ってください。

■ エアフィルタ（吸気口用）の取り付け

付属品の静音チューブ付エアフィルタ（吸気口用）を、エアフィルタ差込口に取り付けてください。

※エアフィルタ（吸気口用）の取り付け・取り外しの際、エアフィルタのねじ部が空転する場合があります。空転する場合は、エアフィルタのナット部を薄口スパナでつかみ、本体への取り付け・取り外しを行ってください。

※エアフィルタ（吸気口用）は常に清潔に保持してください。汚れが著しいと空気量が減少し、ご使用前にエアーコンプレッサーの能力が低下します。

ご使用前に

■ 取り付け箇所参考画像



⚠ 注意

取り付ける際、エアフィルタ（吸気口用）にはパイプシール（シールテープ）を使用しないでください。

使用中、空気と共にパイプシールの一部が吸い込まれて故障の原因となる恐れがあります。



■ エアホース他エアツールを取り付ける

エアホースのカプラプラグをカプラへ差し込んでください。

しっかりと奥まで差し込み、ワンタッチカプラソケットのリング部分が手前へ出たら、接続完了です。カプラプラグを引いてみて、外れないことを確認してください。

⚠ 注意

エアホースのカプラプラグは、確実にワンタッチカプラソケットへ接続してください。接続が完全でないと、事故やけがの恐れがあります。

ご使用前に

試運転

■ 電源スイッチを入れ、再起動の確認

①差し込みプラグを電源（AC100V）に差し込み、電源スイッチをONにしてください。

モータが作動しエアタンク内に圧縮空気が送られます。この時、異常な音や振動がないことを確認してください。

圧縮空気が約0.8MPaになると、自動的にモータが止まります。



②エアコックを少し開きエアタンク内の圧縮空気を徐々に抜いてください。エアタンク内の圧力が約0.6MPa未満に低下するとモータが再起動することを確認してください。再起動が始まったらエアコックを再び閉じてください。

③電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いてください。

④エアコックを開き、エアタンク内の圧縮空気を完全に抜いてください。

エアコックを開く際は、レギュレータの圧力計をご確認ください。
圧力計が0になっている場合は、エアコックを開いてもエアが出ません。
レギュレータのツマミを回して圧力を上げてください。

⚠ 警告

圧縮空気を抜く時や、エアコック全開時は、顔をエアコック付近に近づけないでください。圧縮空気の排出によって、失明や耳を傷める恐れがあります。

ご使用方法

運転手順

■ エアタンク内に圧縮空気を溜める

使用するエアツールの取扱説明書に従い、エアホースにエアツールを接続してください。エアツールの接続が完了したら、圧縮空気をエアタンク内に溜めます。

(1)ドレインコックが閉じていることを確認してください。

(2)差し込みプラグを電源（AC100V）に差し込みます。

(3)電源スイッチをONにしてください。モータが作動し、圧縮空気を作り始めます。タンク内の圧力が約0.8MPaになると、自動的にモータが停止します。

※これで全ての点検と準備が完了しました。エアコックを開き、使用するエアツール取扱説明書に従って、作業を開始してください。

使用するにあたって

■ 2つの圧力計について

圧力計は「タンク内」用と、「レギュレータ」用の2つあります。

■ レギュレータについて

レギュレータは、吐出される圧縮空気の圧力を調整します。

エアツールにはいろいろな種類がありますので、必ず使用するエアツールに応じ、指定された使用空気圧力の範囲内でご使用ください。



レギュレータ

- ◎レギュレータを右に回す ... 吐出圧力が高くなる
- ◎レギュレータを左に回す ... 吐出圧力が低くなる

作業を終了させる

終了手順

※作業終了後、必ずタンク内の圧縮空気は全て使い切ってください。

(1)電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグを電源から抜いてください。

(2)エアホースをエアコンプレッサーから外してください
ワンタッチカップラソケットのリング部分を引いて、エアホース他エアツールを抜きます。

⚠警告

- ・エアホースを抜く前にエアタンク内のエアは全て使い切ってください。
- ・エアホース内に残圧が残っていると圧縮空気のでエアホースが跳ね、けがや事故の恐れがあります。

(3)タンク内の水抜きをしてください。

エアタンク下部にあるドレインコックをゆっくりと下に回し、タンク内の水を抜いてください。

※ドレンを抜く際は、サビが混ざった水が出ますのでドレインコックの下にトレイなどを置いてください。

■ 各種サイズごとのドレインコック

■ 30L



■ 80L



使用方法：コックを下にひねる

■ 50L

使用方法：反時計回りにゆるめる

⚠ 警告

- ・必ずドレインを抜く前にエアタンク内のエアは全て使い切ってください。
エアが入っている状態でドレインを抜くと、事故やけがの恐れがあります。
- ・使用後は毎回必ずドレンを排出してください。
ドレン抜きを行わないと、エアタンク内に水が溜まり、それが圧縮空気と一緒にエアホースを通過してエアツールに運ばれ、故障や錆の原因になります。
- ・水を抜く場合は、顔をドレンコックに近づけないでください。
タンク内の残圧やドレインの排出によって失明や耳を傷める恐れがあります。

(4)安全な場所で保管してください

故障かな？と思ったら

●次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	解決方法
エアーコンプレッサー が作動しない	差し込みプラグが外れている。	差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	温度管理装置が働いている。	一度電源スイッチをOFFにし、モータが十分冷えた後 再度電源スイッチをONにしてください。
	延長コードを使用している。	電圧が下がっていることが考えられます。延長コードの使用をやめ、直接 電源に接続してください。
	他の器具と電源を併用している。	電圧が下がっていることが考えられます。 15A以上の電源を単独で使用してください。
圧力が上がらない、 圧力が低い	各ねじ部からのエア漏れ。	各ねじ部を締め付けてください。
	エアフィルタ（吸気口用）が汚れて いる。	エアフィルタ（吸気口用）を清掃してください。汚れが著しい時は、新し いものに交換してください。
	エアタンク内に水が溜まっている。	ドレインコックよりエアタンク内の水抜きを行ってください。
	安全弁からのエア漏れ。	安全弁の交換が必要です。カスタマーセンターにご連絡ください。
エア漏れ	停止時のアンローディングバルブか らのエア排出。	再起動時の負荷を軽減するために配管部などの残圧を排出しています。数 秒間のエア排出は故障ではありません。
	起動時のアンローディング バルブからのエア排出。	起動時の負荷を軽減するために正常回転になるまで、数秒間アンローディ ングバルブからエアが排出される場合があります。故障ではありません。 ※長時間エアの排出が続く場合は故障の可能性がありますので、お買い求 めの販売店または発売元にご連絡ください。

ご購入後、初めてご使用になられる場合

原因	解決方法
延長コードによる電圧低下	電圧が下がっていることが考えられます。 延長コードの使用をやめ、直接電源に接続してください。
寒冷地での使用	本体の温度ならしを約10度になるまで行ってください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。

お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理、対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

メンテナンス

※本機の性能を維持するため、定期的に保守・点検を行なってください。

■ エアフィルタ（吸気口用）の点検

※点検の際は必ず電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグを電源から抜いてください。

・エアフィルタ（吸気口用）は常に清潔にしてください。エアフィルタ（吸気口用）が汚れていると、空気量が減少し、エアープレッサの機能が低下します。

・エアフィルタ（吸気口用）が汚れている時は、以下の要領で清掃してください。

(1)エアフィルタを取り外してください

(2)中のエレメントの汚れをエアダスタやブロワなどの送風機で吹き飛ばしてください。

(3)汚れを吹き飛ばした後、再び取り付けて使用してください。

※汚れが著しい時は、新しいものに交換してください。

■ タンク内の水抜きをしてください。

(1)エアタンク下部にあるドレンコックをゆっくりと下に回し、タンク内の水を抜いてください。(p16~p17参照)

※ドレンを抜く際は、サビが混ざった水が出ますのでドレンコックの下にトレイなどを置いてください。

■ 保管について

・使用しない場合は、きちんと保管してください。

・乾燥した場所で、お子様の手の届かない所または伴のかかる所に保管してください。

お問い合わせ

※説明書およびサイト内掲載のよくある質問でも解決できない場合カスタマーサービスへご連絡ください

■ 公式サイト

エアーコンプレッサー専門店エアセルフ

<https://air-compressor.jp>



よくある質問（購入後）

<https://air-compressor.jp/faq2>



■ カスタマーサービス

電話番号

0120-557-481

電話受付時間 平日10時～17時

メールアドレス

info@air-compressor.jp

24時間365日メール受付